

日刊金属

ステン
レス

日新・日金工持ち株会社設立、ステンレス分野強化 周南に機能集約で商社ポジション変わらず 取引問屋少なく関西市場活性化には直結せず

日新製鋼(以下日新)と日本金属工業(以下日金工)が今年10月、共同株式移転による持ち株会社「日新製鋼ホールディングス」を設立、両社は完全子会社として傘下に入る。それに合わせて、生産体制の再編などステンレス分野の強化も図られる。

ステンレス製鋼の拠点としては現在、日新製鋼が山口県周南市(旧徳山市)に周南製鋼所、日金工は愛知県碧南市に衣浦製造所をそれぞれ構えている。新会社設立後は生産効率を上げるべく周南製鋼所への集約を進め、集約完了時点での衣浦製鋼所の設備を休止する。

両社のステンレス鋼生産量は、日新が約60万トン、日金工が約30万トンとなっている。新会社設立後はJFEスチールを抜き、新日鉄住金ステンレス(以下新日鉄住金)に次ぐ第2位となる。

今回の統合について取り引きのある商社筋は「周南に機能が集約されることで基本的

にはポジションはあまり変わらないと考えている。ただ、新会社になる事でどのような方針を打ち出すかはまだ見えてこない」と語る。また、別の商社筋も「従来どおりスクラップ原料を購入してくれるかという点は気がかりだが、基本的には変わらないのではないか」と話す。

一方、長年取引関係にある問屋筋は絶好の機会とばかりに「いつでも発送出来るよう萬全の態勢を取っている」と歓迎の声を挙げているが、関西地区で日新と取り引きのあるのステンレス専業問屋は少数にすぎない。したがって、現時点では関西のステンレス市場の活性化に直結する可能性はきわめて低いと言わざるを得ない。

とはいっても、西日本に機能が集約される事で、関西からの購入量を増やす可能性も決してゼロではない。今後のステンレス市場を占う意味でも日新の動向には注目したい。

4月の銅スクラップレポート及び5月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジ、LMEセツルは7400—
8400ドル、建値は640—720円

■概況:前半は前月から一転、期待のスペイン入札が不調だったことやそれを嫌気しての仏・伊・ポルトガル債の利回りの急上昇や、3月の中国の貿易統計が+5.3%と予測の+9%から大幅伸び悩んだこと。米バーナンキFRB議長が「米景気は回復にはほど遠い」とのコメントを嫌気し大幅下落8165ドル

(セツル)と約315ドル下落しての前半締めとなつた。

後半は注目の独ZEW指数が予想外の好結果だったことやIMFが来年の世界経済成長見通しを上方修正したこと。さらにG20でIMFへの追加的資金捻出が決定したことを好感し月末は8444ドルまで回復した。GW明けの5月7日現在8296ドルとフランス大統領選でサルコジ氏が敗北したことやギリシャでの2大政党惨敗による政治不安から150ド

ル強下落し、5月は建値70万円のスタートとなつた。

■前月の経済指標：日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+3.4%の98万4567台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比-58%の20万8977台(前年比+178.2%)。3カ月間の自動車生産計画は昨年対比+208.6%の247万3千台であった。また国土・交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)-7.6%(昨年比+5%)の6万6928戸であった。

貿易関連指標を見ると、財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が+22.7%の5万7724t、スクラップが+35.8%の3万5946t。輸入は、電気銅が前月比+200%の3810t。スクラップが+13.1%の7151tとなつた。

■前月の国内指標：日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比+4.7%の6万7120t(昨年対比-8.1%)であった。また、日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前月比+0.2%の5万9500t(昨年対比+5.9%)であった。

■見通し：前月同様に自動車関連は絶好調、住宅関連も底入れが感じられたが全体としては悪化が進んだ月となつた。

自動車生産は前年比+244%の98万4567

台と8カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。また国内自動車販売台数も49万7959台と前年比+192%と急上昇、また3~5月の自動車生産計画が+209%と自動車関連

アルミ・銅 高価買受

柳金属産業(株)

072-770-3582
日刊金属を見たと
お申しつけ下さい

	1月	2月	3月
生産台数	83万7197台	95万2268台	98万4567台
前月比	-13%	+13.7%	+3.4%
昨年対比	+18.6%	+19.7%	+243.7%
	2月	3月	4月
販売台数	39万3213台	49万7959台	20万8977台
前月比	+25.6%	+49.4%	-58%
昨年対比	+31.9%	+118.2%	+192%
	3月	4月	5月
生産計画台数	96万3千台	77万5500台	73万3500台
前月比	+12%	-19.4%	-5.5%
	1月	2月	3月
新設住宅着工戸数	6万5984戸	6万6928戸	6万6597戸
季節調整 前月比	+8%	+11.6%	-7.6%
昨年対比	-11%	+1.5%	+5%
	輸入	2月	3月
電気銅	3758t	1272t	3810t
前月比	+31%	-66.2%	+200%
スクラップ	6286t	6321t	7151t
前月比	+22.9%	+0.6%	+13.1%

	1月	2月	3月
電気銅	2万8061t	4万7035t	5万7724t
前月比	-22.2%	+67.6%	+22.7%
スクラップ	1万3488t	2万6470t	3万5946t
前月比	-41.9%	+96.2%	+35.8%

